

## 「売ります・買いますサイトの構築」

経営情報学科 臼杵 高太郎(代表、他1名との共作)

私たちは授業で使った教科書等、日々の大学生活の中にある、「まだ使えるが、あまり使わないもの」を大学内で売買を行うサイトを構築しました。

従来のオークションサイトやフリーマーケットサイトに類似したものがありますが、最も大きな特徴は阪南大学に限定したことです。この利点は送料が不要ということです。

これまでにあった Yahoo オークションなどを利用した場合、取引が成立しても、商品を送付する送料が発生してしまいます。こちら側は譲るつもり教科書であったとしても、送料が発生するとなってしまうと、譲られる学生も送料の負担をする場合などに、額が増えてしまって、結局普通に教科書を購入した方が安くなる場合もあります。

しかし、阪南大学限定の「売ります・買いますサイト」は、譲る(販売する)人、譲られる(購入する)人ともに阪南大学生に限定するので、商品の受け渡しを阪南大学で Face-to-face で行うことができます。

この市住む手を考えるきっかけになったのは、これまでの学生生活を振り返り、自分が使用した教科書をまた、再活用できないかと思った事が始まりです。

自分で持っていて、教科書の内容を復習するとき等に使用はしていたのですが、授業で使う時ほどの使用頻度はなく、まだまだ使用できる教科書を勿体ないと感じていました。

そこで、次年度の授業などでその教科書を使用する方に安く譲り渡すことができれば、相手も使える教科書を安く手に入れることができ、自分も、次の教科書を買うための購入資金が少し入ってくるため、お互いに良いと思っていました。

ただ、自分の交友範囲だけではすべての教科書を譲る事ができずにいました。

そこで、何か別の方法で、色々な方に譲る事の出来る教科書があることを周知したく、今回のサイト構築に至りました。

更に、見知らぬ先輩と後輩が本システムを通して知り合うこととなります。これによって、普通ではクラブやゼミなどでしか構築できない先輩と後輩の関係を作ることができ、直接教科書を取引した科目についてのアドバイスを受けるなど、単なる売買関係以外の人的な効果も期待できると考えました。

教科書に特定した取引だけではなく、様々な品物を扱えるようにしていきたいと思っています。例えば、4月の入学前の一人暮らしを始める新入生と卒業して一人暮らしを家電や家具を処分する学生との間で、品物の取引を行う事等です。これも、阪南大学に限定することによって、阪南大学周辺の一人暮らし用のアパート間の荷物移動を行うだけで済むため、遠距離の配送を行うコストを削減することができると思っています。

売ります・買いますサイト自体は Web アプリケーションでできており、他のコンテンツを追加することが可能であるため、随時追加を行っていきたいと思っています。